



***** ご案内 *****

下記のとおりセンシング技術応用研究会の総会、研究例会を開催いたします。

研究例会のご参加は、今回は事前申し込みが必要です。11月30日(水)までに事務局までお申し込みください。多数お誘い合わせの上ご来会いただきますようご案内申し上げます。

研究例会参加費：会員 無料、非会員 ¥8,000

記

日時 平成28年12月6日(火) 14:00~16:50
場所 常翔学園大阪センター301室(大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3階)
(毎日インテシオは毎日新聞ビル1Fとつながってます)
アクセス：JR「大阪駅」徒歩10分、地下鉄四つ橋線「西梅田駅」徒歩8分

主催 センシング技術応用研究会

連絡先・申込先 センシング技術応用研究会事務局

TEL:0725-51-2534 FAX:0725-51-2597 E-mail:sstj@dantai.tri-osaka.jp

※参加者名、会社名・学校名、連絡先住所・電話をご記入の上、申込先にメールまたはFAXでお申し込みください。



研究例会 (14:00~16:50)

一講演 (14:00~15:00)

「印刷手法で作製した静電容量型フィルム近接センサー」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 フレキシブルエレクトロニクス研究センター
研究チーム長 山本 典孝氏、野村 健一氏、牛島 洋史氏

IoTの進展により製造方法や価値作りが大きく変わる可能性がある。3Dプリンターに代表される、新たな生産技術革新は生産コストが高い先進国でも成立するものづくりのスタイルであるが、それと同様にプリントドエレクトロニクスもユーザーにカスタマイズしたテーラーメイドエレクトロニクス製品を実現する手法として期待されている。省エネ・省資源で多品種を量産することが可能である。プリントドのアプリケーションとして非接触式の静電容量型フィルム状近接センサーを作製しており、人の動きや呼吸を検出できる技術を開発中である。製造プロセスや実装技術等を含め解説する。

一休憩 (15:00~15:10)

一講演 (15:10~16:10)

「先進センシング分野を支える微小集光レーザの開発」

京都工芸繊維大学 大学戦略推進機構系グローバルエクセレンス
講師 北村 恭子 氏

近年、バイオセンサ、車載用センサ/ディスプレイなどの先進センシング分野において様々な光の利用が進んでいる。より高感度、高精度、小型な検出を可能にするには、小型な微小集光光源の開発が肝要である。本発表では、フォトリソグラフィ技術を用いた、微小集光を可能にする光源開発について紹介する。

一休憩 (16:10~16:20)

一製品紹介 (16:20~16:50)

「COMSOL MultiphysicsによるMEMSシミュレーション」

計測エンジニアリング制御(株) 名古屋営業所 ビジネス開発チーム
課長 三隅 和幸 氏

近年数値シミュレーションはMEMS分野でも盛んに行われるようになってきました。通常サイズでは無視できる微妙な場の影響もこの分野では無視できず、物理現象は本質的にマルチフィジックスになります。本講演では実現像を非常に精度良く数値化できるCOMSOL Multiphysicsについてお話させていただきます。